

図書館トピックス！

企画展示の実施！



「調べ学習」に使える本を展示します。
 お子様の自由研究にどうぞ。
 3階展示コーナーにて。
 7月20日（金）から9月9日（日）まで

本の福袋の貸出！



中身は借りてからのお楽しみ。
 思いがけない本が入っているかも。
 3階展示コーナーにて。
 8月1日（水）から8月31日（金）まで

夏休み期間、毎日開館！



春日井市図書館は夏休み中、
 月曜日も開館します。
 期間7月20日（金）から8月31日（金）まで
 ※グルッポふじとう図書館・各公民館・ふれあいセンター・
 グリーンパレス図書室は通常どおり月曜日休館です。

インターネットで貸出延長・予約ができます。

借りている本をまだ読み終わっていない、読みたい本があるけれど貸出中で借りられない、そんなときは、貸出延長・予約をしましょう。
 貸出延長・予約は図書館窓口のほか、インターネットシステムでも手続きができます。
 インターネットシステムの利用にはパスワードが必要です。
 詳しくは図書館窓口まで。（※予約が無い場合に限り延長できます。）

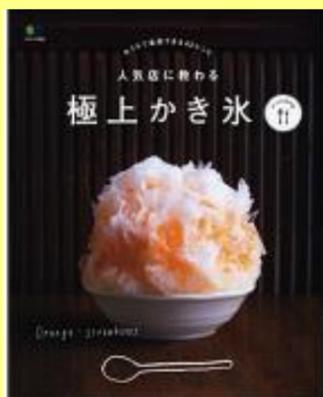


- 図書館では静かにしましょう
- 返却日を守りましょう
- 本はやさしく扱きましょう
- 落書きや切り取りをしないで！

春日井市図書館
 〒486-0844 春日井市鳥居松町5丁目44番地
 電話：(0568) 85-6800
 開館時間：午前9時～午後8時
 休館日：月曜日(休日の場合はその直後の休日でない日)

～おすすめ本の紹介～

突然ですが、皆さんはこの日本特有ともいえそうな暑い季節、どのように涼をとっていますか？スイカを食べたり、エアコンの効いた室内でゴロゴロしたり、はたまた避暑地へ行ったり・・・？さまざまな涼のとり方があると思いますが、本から涼をとるといえるのはいかがでしょうか。ただ、絶対に涼しくなるとは言えませんが、少しでもそんな気分させてくれる、種類の違うひんやり本を3冊集めてみました。



人気店に教わる 極上かき氷

エイ出版社 596.6/ニ/13

キラキラの氷。ツヤツヤのシロップ。お店でしか食べられないと思っていた、極上のかき氷がおうちでも食べられる！！定番のイチゴのかき氷をはじめ、珍しいじゃがいもミルクのかき氷など、いろいろな種類のかき氷の作り方が載っています。親子で作っても、一人でご褒美かき氷を作っても楽しそう。見ているだけでも口の中がひんやりしそうな1冊。

愛知の怖い話

福谷 修/著 TOブックス 388.15/ア/16

ある水飲み場で、水が勝手に流れ出すという出来事が頻繁に起きるようになった。犯人を捕まえようと夜中張り込んでみると、そこには・・・！！という中区の水飲み場のお話など、愛知県でおこるさまざまな怪現象をまとめた一冊です。春日井市で身近(?)なところでは、入鹿池のお話も載っています。夏の夜、背筋ひんやりの一冊です。

シロクマ・キッズ

中村 庸夫/著 実業之日本社 748/シ/02

冷たい、冷たい雪の上。シロクマの親子は寝るのも一緒。遊ぶのも一緒。見ているだけで癒される写真とともに、シロクマ親子がいいそうなセリフが載っています。背景の雪は、ひんやりした冷たさを想像させてくれます。でも心はほんのり温かくなる、そんな写真集です。

料理

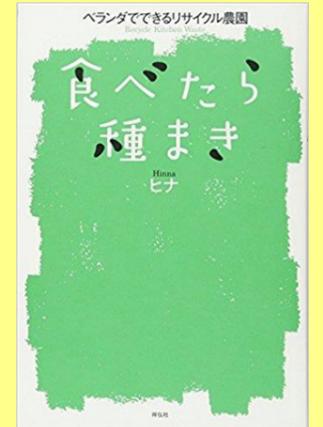
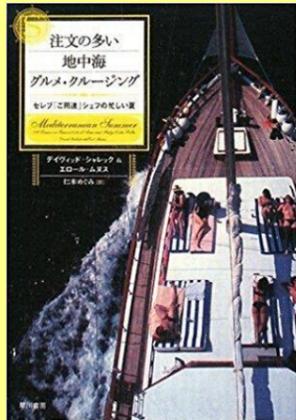


うだるような暑い夏…毎日のごはんに何を
作ろうか悩みますね。
そんなときだから！日本の夏の暑さは忘れ
て、本の世界におでかけしましょう！現実
世界に戻ってきたときには、今日のメニ
ューが決まっている…かも…。

野菜



最近は、家庭菜園を楽しんでいる方も多いと思
います。夏の定番野菜を育ててみるのに丁度良
い季節。ぜひ、野菜栽培に挑戦してみてください。



注文の多い地中海のグルメ・クルージング セレブ「ご用達」シェフの忙しい夏

デイビッド・シャレック&エロール・ムヌス著
早川書房 596.23/チ/08

アメリカおよびヨーロッパ各地でシェフとして活躍している著者が、まだまだ修行中だったときのこと。夏に5か月かけて地中海をクルーズするプライベートシェフの依頼がやってきた。ただし、料理は、重複するメニューを出してはいけない。寄港する港独特の食材を使うことが条件…読んでいる途中はもちろん、読み終えた後もおなががすく作品です。

子どもがつくる旬の料理①春・夏

坂本廣子著 クレヨンハウス 596/コ/03-1

季節に合わせたおかずやデザートレシピだけでなく、後片付けのしかたや包丁の持ち方といった基礎的なこともイラストでわかりやすく説明しています。タイトルに「こども」とついていますが、大人が読んでも新しい発見があります。

夏の虹

高田郁 著 角川春樹事務所 F/タカ/12

時代は江戸時代。「つる屋」の料理人である澤は、2つの道に悩んでいた。想い人と添うか、料理人として生きるか…この小説に出てくる料理は、素朴で、どこか懐かしさを感じさせてくれます。実際に、江戸時代の小料理店では、このような料理が出されていたのかもしれませんがね。

しばわんこの四季の庭

川浦良枝/絵・文 白泉社 620/シ/11

柴犬の「しばわんこ」と、三毛猫の「みけにゃんこ」が、春・夏・秋・冬の季節に合わせてお庭づくりに挑戦します。可愛い絵と文で、ガーデニング初心者の方でも分かりやすく、楽しくお花や野菜を育てられると思います。ベテランさんにも、役立つ情報満載です！

農薬に頼らない家庭菜園コンパニオンプランツ

木嶋利男/著 家の光協会 626.9/ノ/06

自分で作る野菜には、農薬を使いたくないですよね。そこで「コンパニオンプランツ」を試してみませんか？お花や野菜を混植することによって、お互いに良い影響を与えるので、害虫や病気を減らす事ができ、収穫量も増えるかもしれませんよ。イラストで分かりやすく書かれているので、ぜひ試してみてください。

ベランダでできるリサイクル農園 食べたら種まき

ヒナ/著 祥伝社 626.9/タ/11

お金をかけずに野菜が作れたら良いと思いませんか？この本は「食べた野菜や果物の種」を捨てずに土に蒔いて、プランターで育てます。肥料や農薬もキッチンにあるものを使って、安心安全の手作り。種の取り方から収穫までのコツが書かれているので、美味しい野菜を育ててみてください。